

民児協 あこう

広げよう 地域に根ざした 思いやり

第 43 号 平成 25 年 秋号



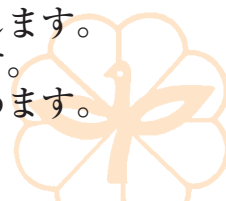
平成 25 年 9 月 14 日 坂越中学校体育祭
全校女子生徒による熱戦「騎馬の女王」



民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会



退任を 迎えて



赤穂市民生委員
児童委員協議会
会長 中村文代

民生委員児童委員として職を去る日がまいりました。「光陰矢の如し」と申しますが、過ぎ去った24年間に振り返りますと、長いようで短くも思える福祉の道のりでした。

就任当時、日本は経済

の お葬式を近所の方々とお営み齋場まで送ることもあり「良くやつてくれた。ありがとう」と労っていただいたこともありました。虐待や孤独死の対応も喫緊の課題です。また、いつの時代においても子どもを育てる責任は親にあり、その営みを家族が支えていきましたが、核家族化が進み、近隣の付き合いが減り、地域のつながりが希薄化し、地域社会から孤立する方々が年を追うごとに増えてきました。私たち民生委員児

童委員の活動も児童問題、精神障がい者支援、悪質商法被害、自然災害など広範囲にわたり、地域に密着した活動がさらに求められるようになりました。民生委員児童委員行動宣言「広げよう地域に根ざした思いやり」が私たちの活動の方向性を簡潔明瞭に表現しています。人と人の絆を大切に、つながりや思いやりを持って支えあい助け合う関係づくりがいまこそ必要です。

私の家庭は夫が亡くなり長男夫婦、孫と三世代暮らしです。家族の協力がありません。また多くの師や友との出会いは大きな財産となりました。人生の表裏、幸不幸、様々な方々の生き方を知り、共に喜び共に悲しみ心の通う架け橋になったと思っております。地域の皆さん、民生委員児童委員の仲間、行政、また関係機関の皆さんありがとうございました。24年間の感謝を申し上げます。

3年間に振り返って

老人福祉部会

NHKスペシャル「無縁社会を考える 年間3万2千人の無縁死」の報道を見たのが3、4年前。本屋へとび込んでさがしました。それは「無縁社会」と書いた一冊の本です。それを買って求め帰って読んでみると自分のまわりにあるようなことが書いてありました。

老人福祉部会を預かり、この3年間はこれで行こうと決めました。1年目「無縁社会を考える」2年目「孤独死を防ぐには」3年目「孤立をまねく高齢者虐待とは」をテーマにして勉強会をしました。

老人福祉部会の30名のみんなが後ろから押してくれたりと、時には先頭に立って引張ってくれ、すばらしく、なごやかな人間関係が出来上がりました。特に百才以上の在宅高齢者友愛訪問は部員全員で行うことが出来ました。ひとり暮らしでもない、高齢者夫婦でもない在宅の高齢者と、昔々の話が出来るとステキな時間が持てました。帰りには「また来てね」との一言がうれしいです。赤穂市の福祉に有縁社会となる大きな花が咲くことをお祈りします。



百才訪問 市内最高齢者
毎日、庭や畑の草とりをしているお元気な
原田そのさん 105才 西有年

障がい者福祉部会

部会の定例行事である5月の精華園祭協力参加と、11月の赤穂市身体障害者福祉協会主催のふれあいグラウンドゴルフ大会協力参加をはじめ次の行事を行いました。

- ①自殺予防についての講演（仁泉病院院長・深井光浩氏）
- ②障がい者虐待防止について・障がいの概念について（関西福祉大学・菅由希子氏）
- ③聞こえない人とのコミュニケーションについて（市社会福祉課・児島佳織氏ほか2名）

- ④体験学習会
- ①アイマスク・手話研修（赤穂ボランティア協会・矢野隆氏・三宅秀和氏、市社会福祉課・児島佳織氏）
- ②着衣泳体験研修（消防本部・木村隆彦氏）
- ③心肺蘇生法・AED研修（消防本部）
- ④キヤップハンディ学習・高齢者疑似体験（社会福祉士・岩崎文子氏）
- ①精華園
- ②さんぽみち
- ③県公館・県警本部



赤穂精華園施設を見学

児童福祉部会

青少年育成の講演会では、子どもは家族で育てていると、祖父母との対話から家族を大切にすることが育ち、地域の人と子どもにも声掛けをしていると挨拶もするようになるなどの話がありました。

また、赤穂保育所を訪ね、所長から親の仕事の事情で市内全域だけでなく、市外からも入所する子どもがいる、延長保育も実施している話がありました。特に強調されていたのは、「親の休みの日には出来るだけ子どもとふれあうべきだ」との話のあと、園児とふれあいのひとときを過ごしました。

施設見学では、神戸市西区の神出学園を訪問しました。神出学園は不登校を経験した人たちが、さまざまな体験を通じて自分をみつめ、自分の生き方を発見する支援施設です。また、消防本部による心肺蘇生法やAEDの使い方の講習を受けました。危機管理担当からは災害が起きたとき、公助で2%、地域の共助で98%の命が助かるの話がありました。記憶に残る活動を心がけてきましたが、今後の活動に役立てばと思います。



赤穂保育所園児との交流会

主任児童委員

この3年間、主任児童委員をさせていただいて感じたことは、大きく視野が広がったということです。今まで知らなかった世界を知り多くの方と知り合い語り合い支えていただきました。充実した生活の中で大きく自分自身が成長出来ました。今まで出会った方々が私の宝です。そして感謝の気持ちでいっぱいです。

いろんな研修も受けさせていただいて、本当に多くの方と接し、意見を聴いて考えさせられました。普通の生活を送る子どもたちが当たり前ではないこと。そして、その子どもたちを支えるために多くの人がかかわっていること。実際に子どもたちとふれあう機会もあり、いつまでもキラキラ輝く瞳がそのまま成長することを強く願いました。

親子共ども心おだやかに笑顔で過ごすことはとても大切なことです。私たちはすべての子どもたちの幸せと成長を心より願っています。



坂越児童館にて

「思いやりの心を育てるために」に参加して

8月31日、赤穂東中学校区青少年育成推進協議会主催による教育講演会「思いやりの心を育てるために」は、公益財団法人モラロジー研究所の社会教育講師 穂苅満雄氏を迎え、尾崎公民館で開催され、尾崎、御崎地区の民生委員児童委員も参加しました。

出席者の7〜8割を占める30〜40歳代の若い人たちが前に、「思いやりの心」が育てばいじめや暴

力がなくなる。原因は多々あるうとも自己中心的な心の働きが今日の社会現象を起こしていると考えられます。これらの原因と思われる心の働きについて講話が進みました。

「挨拶の大切さ・性格を叱らず行為を叱る・過保護は無責任に・過干渉は無関心に・過期待は無気力になりやすく、相手の自尊心を傷つけるけなし言葉を遣わない」など、人間形成に必要な幼児期

からの躰（しつけ）、少年期の教育のあり方など、それらに対する心づかいについてお聴きしました。

側隠（そくいん）という言葉があります。側隠は、特に老人やけが人病人、その他不自由な人に対して思いやる精神作用をいいます。この同情心が思いやりの始まりで、例えばヨチヨチ歩きの赤ちゃんが車に当たりそうになると、それを見た人は自然に助けに行くと思



います。側隠は誰にでもあります。

人間はとても大きな可能性を持っています。



☆子どもの心は物、お金では満たせない

「あれ買って」「これ買って」と次々に要求して困るという子どもがいます。その子の本当の要求を満たしてもらっていないのでしょう。「物、お金」で子どもの心を満たそうとすると、「物、お金」の要求がどんどんエスカレートし、将来とても困った人間になる可能性があります。

そうならないためには、親の心や体や時間で応えてやれるものは可能な限り与えてやるといいのです。

例えば、子どもの食べる物を簡単なものでも手をかけて作ってやる。食事というのはあたたかい人間関係を作るうえで大きな力になります。また、出来る限り子どもの要求に応えて、おんぶやだっこをしたり、キャッチボールをしたり、トランプをしたり……。

物、お金を与える事は簡単です。このように、手間をかける事は親の努力が必要ですが、それで子どもの心は満たされ、「物」の要求が減り、何より親への信頼が大きくなります。

編集後記

民生委員児童委員の1期3年が1月で終わり、広報部会の活動もひと区切りとなります。「明るく楽しく見やすい広報づくり」をテーマとして、多くの人に読んでいただけるように、文字を大きくしたり、写真を多くし、カラー印刷にするなど紙面の編集にも改善をしてきました。次号からは新しいメンバーでの発行となりますが、「民児協あこが」が市民の皆様とのつなぎ役となるよう引き継いでいきます。広報部会

そのままではあまり他の生き物と相違なく、人は教育によって学び感化されて、側隠の情を養い修養して成長すること、思いやりのある人が思いやりのある人を育てること、感謝の心、思いやりの心の生活が良い人生を創ること等を、今回の教育講演会から人としての大切なことを多く学ぶことができました。

若い母親たちは、熱心にメモをとりながらうなずいていました。